

「あわぎん地域密着型金融推進計画」 平成26年度の取組み状況について

平成27年6月



あわぎん地域密着型金融推進計画

当行の伝統的営業方針である「永代取引」を実践することが、地域密着型金融と同義と位置付け、その実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

金融円滑化への対応強化

- 経営改善支援、改善計画策定支援の取組強化
- 再生支援協議会・外部専門機関との連携強化
- 資本金借入金・AWA企業再生ファンドの活用推進
- 事業承継支援、M&Aの推進強化
- 企業格付ランクアップの推進強化

地域経済活力創造への貢献

- 創業・新規事業支援の強化
- 成長分野への取組強化、6次産業化支援強化
- 各種団体等との連携、企業誘致活動の推進支援強化
- アジア、国際ビジネスの強化推進
- 阿波銀行学術・文化振興財団を通じた助成活動継続

お客さまのために、阿波銀ネットワーク力を発揮し、高い付加価値を創造する。

平成26年度の取組み実績のご報告

◆ 中小企業向け融資を積極的に推進しています。

地域経済のさらなる活性化に向けて、中小企業向け融資を積極的に推進しています。

当行は中小企業取引をコアビジネスと位置付け、中小企業等貸出金比率を85%以上とすることを目標としています。平成27年3月末現在では85.09%と、引き続き高い水準を維持しています。

これからも、当行の伝統的営業方針である「永代取引」を追求し、それぞれのお客さまに応じて、オーダーメイドによる質の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

トピックス

平成26年5月～9月、中小企業のお客さまに低利かつ長期の資金を供給することにより、地域経済の活性化につなげるため「あわぎんクリエイティブファンド」を取扱いいたしました。

◆ 経営改善・事業再生支援を積極的に推進しています。

審査部経営支援課に専門スタッフを配置し、お客さまの経営改善、事業再生に向けて積極的に取り組んでいます。

「AWA企業再生ファンド」を活用し、個々のお客さまの状況に応じて、過剰債務の処理や不採算事業のリストラ、M&Aなどによるサポートを行っています。

また、「経営革新等支援機関」として外部の専門機関とも連携し、多様な事業再生スキームを活用することで、抜本的な事業再生や経営改善に積極的に取り組んでいます。

引き続き、グループ一体となりコンサルティング機能の強化に努め、お客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

平成26年度取組み実績

◇あわぎん成長基盤強化ファンド	189件／223億円
◇あわぎん中小企業応援ファンド	1,030件／542億円
◇中小企業等貸出金比率	85.09%
	(平成27年3月末現在)

平成26年度取組み実績

◇経営改善支援取組み率	5.6%
(経営改善支援取組み先数225／期初債務者数4,009)	
◇再生計画策定率	89.8%
(再生計画策定先数202／経営改善支援取組み先数225)	
◇ランクアップ率	3.1%
(ランクアップ先数7／経営改善支援取組み先数225)	
	※上記指標はいずれも正常先を除いています。
◇徳島県中小企業再生支援協議会との連携による件数	25件
うち、完了件数	18件

平成26年度の取組み実績のご報告

◆ ABLの取組みを強化しています。

地域密着型金融推進の観点から不動産担保や個人保証に過度に依存しない金融の円滑化を図る一環として、ABL(動産・売掛債権担保融資)の取組みを強化しています。

ABLとは、企業の事業そのものに着目し、商品や売掛金など流動性が高い資産を担保として活用する、事業サイクルに応じた資金供給であり、金融円滑化の観点からも注目されています。

当行では、ABLを通じて、お客さまとともに、適正な在庫や売掛債権の管理、販売先の拡大支援等につながるよう積極的に取組んでまいります。

◆ 国際ビジネスのサポートを強化しています。

経済のグローバル化が進展するなか、お客さまの多様なご要望にお応えするため、営業推進部営業支援課の専門スタッフが徳島県内はもとより、関東・関西地区にも駐在し、国際ビジネスに関するお問い合わせやご相談にスピーディーに対応しています。

トピックス

平成27年3月、日本政策金融公庫と「信用状取引に係る基本契約」を締結しました。当行は従来から海外提携金融機関等と連携し、スタンドバイL/Cを活用しお客さまのニーズにお応えしてきましたが、今回の提携により、一部当行では対応していない国でのスタンドバイL/C発行が可能となりました。

平成26年度取組み実績

◇ABL取組実績 287件／205億54百万円

平成27年3月末現在(累計)

◇動産・売掛債権担保取得先 473件

うち、動産担保取扱件数 20件

(注)動産担保件数は太陽光設備関連を除いております。

平成26年度取組み実績

◇ソリューションによる外為新規取引先数 74先

◇国際ビジネスに関する外部提携先利用件数 35件

お客さま向けセミナーの開催

海外進出成功のポイントや、最新の海外経済・投資情勢等についての「あわぎん国際ビジネスセミナー」を開催しました。

※国際ビジネス提携先

バンコック銀行(タイ)、カシコン銀行(タイ)、バンクネガラインドネシア(インドネシア)、インドステイト銀行(インド)、BDOユニバンク(フィリピン)、ベトコム銀行(ベトナム)、日本政策金融公庫、JETRO、海外コンサルタント、損害保険会社、リース会社 他

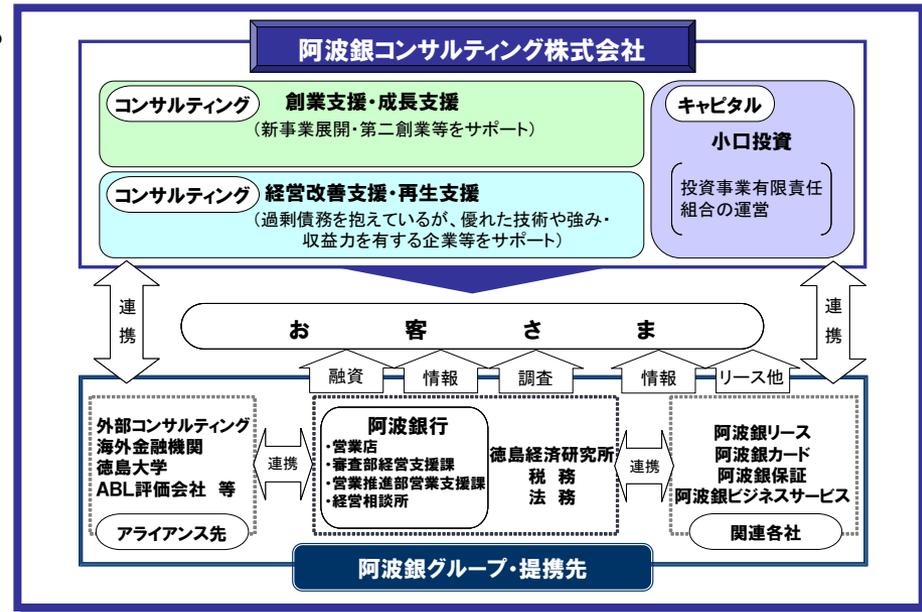
平成26年度の取組み実績のご報告

◆ 阿波銀コンサルティング株式会社を設立しました。

平成26年7月、当行グループ会社として「阿波銀コンサルティング株式会社」を設立しました。

当社では、専門スタッフが、創業から経営改善・事業再生まで、企業のさまざまなステージにおけるコンサルティングを行っています。さらに、キャピタル業務として中小企業のお客さま向けに小口投資を行うなど、幅広いサポートを通じてお客さまや地域経済の永続的な発展に貢献してまいります。

本社所在地	徳島県徳島市元町一丁目7
資本金	1億円
主な業務	経営コンサルティング 投資事業有限責任組合の運営 事業承継支援(株式買取)など
設立年月日	平成26年7月31日

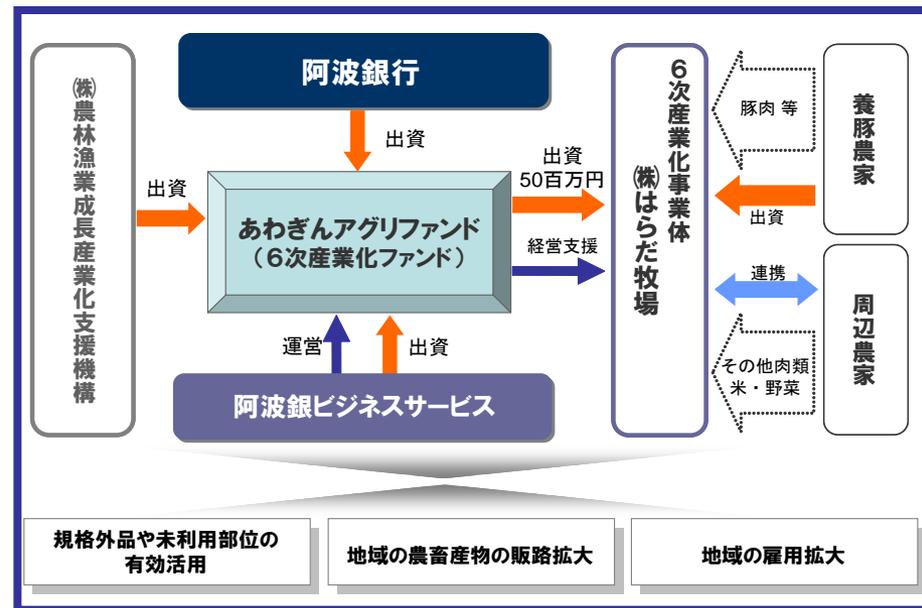


◆ あわぎんアグリファンド1号案件が決定しました。

当行では、農林漁業者が加工・販売までを手掛ける6次産業化を支援する取組みとして、株式会社農林漁業成長産業化支援機構との共同出資による総額10億円の「あわぎんアグリファンド」を平成25年11月に組成いたしました。

平成26年12月には「あわぎんアグリファンド」の第1号案件となる、株式会社はらだ牧場様(徳島県のブランド豚「阿波ポーク」を活用した外食店舗運営会社)への出資案件が決定しました。

※6次産業化とは、1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造(2次産業)や小売・卸売など(3次産業)に取り組むことで、新たな付加価値の創造につながるとした考え方です。



平成26年度の取組み実績のご報告

◆ 地域経済循環創造への支援を行っています。

平成25年3月から開始された「地域経済循環創造事業交付金」制度において、当行では、徳島県等の自治体と連携し、当交付金の積極的な活用を進めています。

地域経済循環創造事業交付金は、地域の資源と資金を活用して事業を起こし、雇用を生み出すモデルを構築する自治体・企業を支援し、「地域経済イノベーションサイクル」の全国展開を推進するものです。

当行では、営業店・営業推進部・審査部が連携し、交付金申請に際しての事業計画策定ならびに申請手続き支援および経営者保証ガイドラインに沿った積極的な融資を行っています。

過去6回の当交付金において当行の支援した案件は10件採択され、補助金額358百万円、融資予定額510百万円となりました。

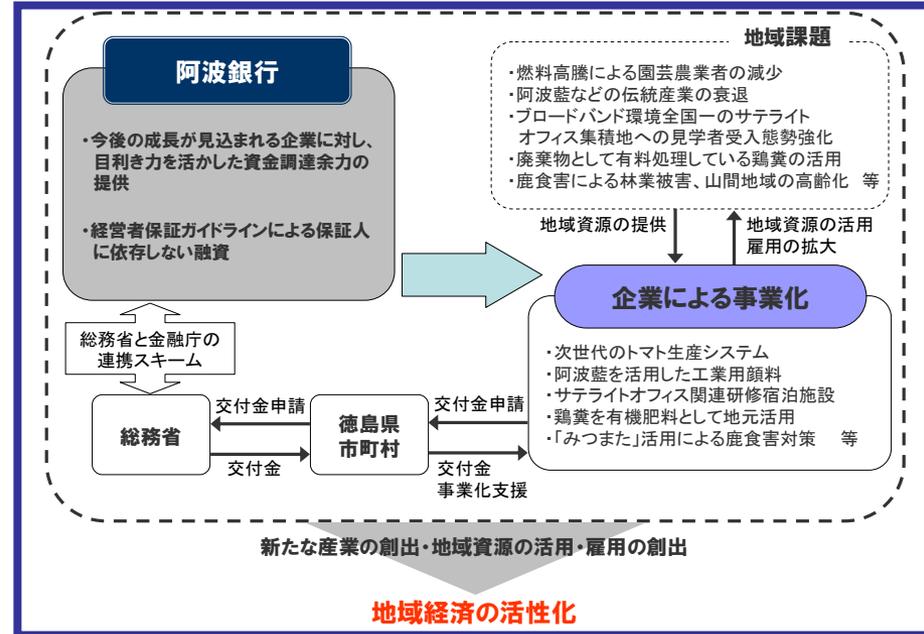
◆ お客様の販路拡大をお手伝いします。

当行では、お客様の販路拡大、新商品・新技術の開発を積極的に支援するため、地方自治体および外部機関等と連携し、各種商談会やビジネスマッチングを開催しています。

また、医療・介護、国際ビジネス、再生可能エネルギー等、テーマごとのセミナーおよび勉強会を随時実施しています。

トピックス

平成26年7月、四国4県の地方銀行による「台湾インバウンド商談会」を開催しました。四国4行が、四国の観光施設を運営する企業の皆さまの橋渡し役となり、宿泊施設と観光施設が一体となって魅力ある四国の観光資源を台湾の旅行会社にPRしました。



平成26年度の取組み実績のご報告

◆ 店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

すべてのお客さまに安心して当行をご利用いただけるよう、店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

設備等のバリアフリーが充実している店舗を県内各地域に設置し、公表しています。また、視覚障がいのあるお客さまがご利用可能な音声案内ATMを全店舗に設置するとともに、コミュニケーションボードや杖ホルダー、身体障がい者補助犬の受入れなどを全店舗で実施しています。

さらに、当行職員を対象にユニバーサルサービス研修会を定期的に実施し、認知症サポーターやサービスケアアテンダントを養成しています。

※サービスケアアテンダント 267名

※認知症サポーター 802名 (平成27年3月現在)



◆ 地域の活性化に取り組んでいます。

地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。

過疎化が進む地域の方からの依頼のもと、平成26年度は、祖谷地区でのソバやじゃがいもの収穫作業、勝浦「ビッグひなまつり」の準備等を行いました。

また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

◇各種ボランティア参加者

あわぎんの森 平成26年度参加者 159名 (累計766名)

アドプトプログラム平成26年度参加者 1,078名 (累計12,766名)



平成26年度の取組み実績のご報告

◆ 地元徳島の学術や文化振興に貢献します。

徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した(公財)阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。

平成26年度までの累計の実績は、学術部門159件9,030万円、文化部門335件6,137万円、合計494件1億5,167万円となっています。

今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めてまいります。



◆ 青少年の金融教育に取り組んでいます。

金融について楽しく学び、正しい金銭感覚を身につけてほしいとの思いから、小学生を対象に「あわぎん子ども金融教室」や「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施しています。

また、高校生を対象とした金融経済に関するクイズ大会「エコノミクス甲子園」徳島大会の開催や、各種教育機関への講師派遣等を通じて、お金の大切さや金融経済を学ぶきっかけづくりを行っています。

※平成27年度も継続して実施してまいります。金融教育をご希望の場合は、阿波銀行経営統括部経営品質推進課までご連絡ください。



これからも、
お客さまとずっとつながる銀行
未来へずっとつながる銀行をめざして
全力で取組んでまいります。

引き続き、ご愛顧を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。

